

I 類 論文課題

【農業土木】

我が国の農業・農村は、国民に食料を安定供給するとともに、その営みを通じて国土の保全などの役割を果たしている、「国の礎」です。

しかしながら、近年、我が国の食料・農業・農村を取り巻く環境は、国際情勢の不安定化や気候変動による異常気象の頻発化、人口減少や高齢化など、大きく変化しています。

このような中、これらを時代にふさわしいものとするため、令和6年6月、「食料・農業・農村基本法」が改正されました。

改正法には、①食料安全保障の確保、②環境と調和のとれた食料システムの確立、③多面的機能の発揮、④農業の持続的な発展、⑤農村の振興の5つの基本理念が掲げられ、この実現に向け、初動5年間で農業の構造転換を集中的に推し進められるよう、令和7年4月、「新たな食料・農業・農村基本計画」が策定されました。

本計画には、「農業生産基盤の確保」、「生産性の向上」、「先端技術（スマート技術）の活用」など各項目毎に目標値を定め、農業経営の収益力を高め、農業者の所得の確保・向上を図るための施策が掲げられています。

そこで、我が国における現状を踏まえ、この計画を進めるために、「農業土木」の技術者に求められる役割について、あなたの考えを述べなさい。